

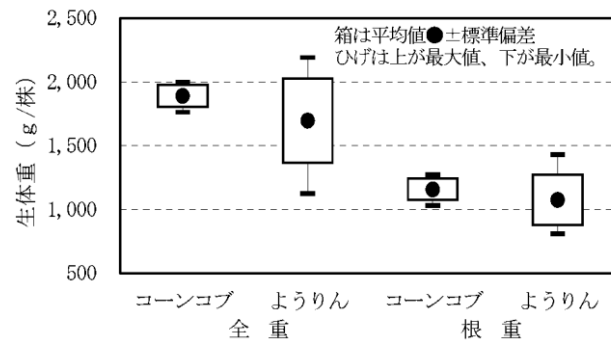
## &lt;減肥ポイント&gt;

## ○リン酸肥料の代替としてコーンコブ堆肥が利用できる（リン酸肥料コスト削減）

## (1) 有機質肥料、有機物を利用して化学肥料を代替する技術

土壌可給態リン酸が60～110mg/100g乾土程度残存する野菜畑では、ダイコンに対して、コーンコブ堆肥をリン酸源として施用しても、収量・品質は、ようりん、重焼りんを施用した場合と同等である。

コーンコブ堆肥のリン酸肥効率は100%として施肥設計を行うことができ、全面施用により、リン酸施肥量の全量をまかなえる。



コーンコブ堆肥のリン酸肥効率を100%としてリン酸を標準量施

図1 ダイコン収量（平成19年、野菜花き試験場）

施肥前土壌可給態りん酸(mg/100g乾土) コーンコブ堆肥区: 62~99 平均79、ようりん区: 51~84 平均67。  
 コーンコブ堆肥の肥効率: N 20%、 $P_2O_5$  100%、 $K_2O$  100%とした。  
 品種: 「耐病総太り」。コーンコブ堆肥施用・施肥8月29日、播種: 8月30日、収穫10月25日。  
 栽植密度: 畝幅1m、条間50cm、2条植え、株間25cm。10株調査。銀黒マルチ。

前記した「Ⅲ 有機物の肥効特性」を参考にして、基肥の窒素成分を化学肥料から有機物に代替して化学肥料を削減できる。

## &lt;関連普及技術&gt;

- ・根菜類ではリン酸肥料の代替としてコーンコブ堆肥が利用できる（平成21年普及技術）